

## 第18回 日銀グランプリ決勝大会 審査員講評

審査員長 若田部 昌澄（日本銀行副総裁）

審査員 遠藤 信博（経済同友会 副代表幹事、日本電気株式会社 特別顧問）<sup>（注）</sup>

黒田 祥子（早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）

野口 旭（日本銀行政策委員会審議委員）

中川 順子（日本銀行政策委員会審議委員）

（注）日銀グランプリ決勝大会を欠席した遠藤審査員からは、事前の論文審査を踏まえた参考意見が提出された。

### 1. 総評

皆さん、非常に完成度の高い、力のみなぎるプレゼンテーションを有難うございました。

現在の日本経済・金融の課題について、多様な発想・視点から提言いただきました。統計データとその分析にとどまらず、積極的に実務家への聞き取り調査を行ったり、アンケートを実施したり、実際にプログラムを駆使してシミュレーションを行ったりと、とても工夫が凝らされていると感じました。このように、自分達の提言を考えるうえで、その問題点などを検証するステップは大切です。

また、本日のプレゼンテーションも、さまざまな工夫が凝らされていたものであったと思います。審査員方からの専門的かつ高度な質問に対しても、自分たちの考えをしっかりと伝えるよう努力されていました。そうした皆さんの姿は大変頼もしく、嬉しく感じたところです。

## 2. 個別の論文について

それでは、個々の論文ごとに講評を述べたいと思います。

### 【最優秀賞】

東京経済大学

こそなえ NISA で子育て NI、SA（差）をつけよう

～所得控除を用いた早期からの資産運用支援策～

東京経済大学チームは、子育てに対する経済的な不安解消を目的に、子育て前から資産運用を促す新しい資産運用支援策を提言しました。具体的には、iDeCo における掛金の所得控除制度を NISA にも準用し、子供が生まれる前にも遡及適用することを提言しました。

若い世代の経済的不安の解消を通じて、少子化問題の糸口を探るという着想は、非常に現実的であると考えます。

なお、①若い時期から資産形成を始めることの実効性、②所得階層間の公平性の分析、③制度の普及による経済全体への影響、といった検証を一段と深めていくことが期待されます。

### 【優秀賞】

東京理科大学

推しています 働くママ

～マッチング理論による保育の流動化～

東京理科大学チームは、保育士と保育園のマッチングシステムの導入を提言しました。このシステムの導入は、柔軟な保育環境を実現させ、夜間や不規則な時間帯の保育需要を満たすことが期待されます。同時に、短い時間でも柔軟に働き

たいとする潜在保育士の職場復帰や女性の社会進出を後押しするというものです。

子育て世代にとって、保育の機会拡大というテーマは、非常に関心の高いものだと思います。

なお、①保育サービスの安全性・信頼性、②ニーズのばらつきに対する価格調整の活用、③既存のマッチングシステムと比較した優位性、などについて、一層議論を深めることを通じて、より実効性の高い提言に繋げることが期待されます。

### **【優秀賞】**

#### **同志社大学**

#### **再生叶うエネルギーによる地域内循環**

#### **～ソルドナーで脱炭素ドミノ～**

同志社大学チームは、脱炭素社会の実現に向けて、地域内における住宅の太陽光発電から生じる余剰電力の集積に着目しました。地域内の余剰電力を統合することで、売電益を生み出し、さらにその利益を原資に太陽光発電設備を順次設置することで、地域内の好循環（所謂、脱炭素ドミノ）を目指すことを提言しました。

脱炭素化という非常に大きなテーマへの取り組みを、段階的に輪を広げながら、脱炭素化に地域経済活性化の視点を加えた問題意識はとてもの的を射ていると思います。

なお、①電力安定供給のために望ましい地域の範囲、②需要分布の分析、③太陽光発電以外の再生エネルギー発電への展開、といった検討を一段と深めていくことが期待されます。

## 【敢闘賞】

### 常盤大学

#### 全クラスに専門家の講義を届ける！

#### ～FESCによる金融教育バウチャーの提案～

常盤大学チームは、成年年齢の引き下げに伴い、高校の家庭科の時間で、金融教育の授業が開始されたものの、専門的知識やノウハウの不足から、指導に不安を抱える現場の教員が多いことに着目しました。こうした課題へ対応するために、金融機関の退職者などを念頭にした専門家と高校とを結びつける教育支援センターを設立することを提言しました。

こうした提言は、非常にタイムリーかつ身近なテーマを題材にした地に足がついた内容であるとの印象を受けました。

なお、①授業内容の公正性・中立性の確保、②授業の質の確保と安定的な提供のバランス、③座学中心でない授業に期待されることや金融機関側の受け止め、などについて、一層議論を深めることを通じて、より実効性の高い提言に繋げることが期待されます。

## 【敢闘賞】

### 麗澤大学

#### 人生100年時代新戦略！「いきいき長生きファンド」の提案

麗澤大学チームは、平均寿命が延びる中、安定した老後資金確保のため、長寿に備えた金融的制度の提言を行いました。具体的には、加入者は65歳時点でファンドへ一括投資を行い、85歳から生涯にわたって支給を受けることができる仕組みです。

長生きをすることへの金銭的不安を軽減させようという問題意識は、長寿化が進む日本にとって、非常に共感が得られるものだと思います。

なお、①既存の保険商品との差別化、②保険の逆選択問題と採算性の分析、③保険以外の金融商品に対する優位性、といった検証を一段と深めていくことが期待されます。

### 3. おわりに

今回の発表論文に関する講評は以上です。本日の決勝進出チームの皆さんのように、今後多くの学生の皆さんが、身近な生活や大学での勉学をきっかけに金融・経済への興味と関心を培い、自ら考え、仲間と議論しながら提言を作り上げていってくれることを期待しています。

日本銀行では、来年度も日銀グランプリを開催する予定です。これからも金融・経済面の課題に対する提言をお待ちしたいと思います。

以 上